

2021(令和3)年度 第7期 事業報告書

2021(令和3)年4月1日から

2022(令和4)年3月31日まで

2019年に中国武漢市で発見された新型コロナウイルス(COVID-19)は、瞬く間に世界中に広がり、感染者累計が世界で約5億1500万人、わが国では約800万人となっている。緊急事態宣言などで学校に行けない状況でも、粛々と学校教育は行われており、感染対策と予防に努め、昔の日常ではなく、新しい日常生活が形成されてきている。

1. カトリック学校の課題と対応

司祭・修道者の高齢化や減少に伴い、カトリック学校としてのアイデンティティの維持・継承が喫緊の課題である。これらに対応するため、学校責任者の養成や教職員研修がより重要性を増すと同時に、優秀な教職員人材の確保が必要となっている。また、少子化や私学間競争、公立学校との競合など、経営面の課題も山積しており、学校法人の組織の在り方自体を検討することも求められる時機が到来していると考えられる。課題に対応すべく、当連合会では、ホームページによる人材情報の取り扱い、「学校法人特別委員会」「研修会特別委員会」の活動を通して、有効な支援を行えるよう努めている。

2. 法人理事会、評議員会の開催

理事会・評議員会の開催は以下のとおり。

- ・第1回理事会 2021年5月10日(オンライン zoom)
(議案内容)2020年度事業報告・決算、役員人事、評議員選定委員会・評議員会招集
- ・2021年度評議員会 2021年5月26日(オンライン zoom)
(議事内容)2020年度事業報告・決算、理事・監事の改選
- ・第2回理事会 2021年5月26日(オンライン zoom)
(議事内容)改選後の理事長・専務理事選出
- ・第3回理事会 2021年9月7日(書面審議)
(議事内容)保育施設協会の残余金、2021年度事業計画変更・補正予算、
研修会特別委員会委員承認
- ・第4回理事会 2021年10月8日(オンライン zoom)
(議事内容)業務執行状況報告
- ・第5回理事会 2022年2月18日(オンライン zoom)
(議事内容)就業規則などの変更、2022年度事業計画・予算

1. 連合会共通事業

1. 人材情報の取り扱いと人材養成の支援

(1) ホームページを通じた人材情報の掲示と共有化

制度の認知度が高まる中で幼稚園から高校まで広く、利用されている。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会全体の活動が低調であったこともあり、求職登録数は133名(前年度130名)、学校からの求人掲載数は279件(同180件)であった。

(2) 「学校一日体験」の企画運営

コロナ感染拡大のため中止となった。2022年度は、清泉小学校、清泉女学院中高で実施の予定。

2. 学校法人特別委員会

- ・ 加盟校がカトリック学校としてのミッションを果たすために、法人統合、経営や学校運営、教育内容の充実等について、専門的見地から、共に考え、助言や支援を行う。
- ・ 吉澤健吉、大川千寿、高田一樹、武井明比古、坪光正躬、濱崎敦、安田隆二、齋藤琢朗

3. 研修会特別委員会

- ・ 研修会の意図を明確化にし、テーマ、講師、形態などについて、意見聴取をしながら、中・長期的にプログラムの企画を行う。
- ・ より実りある研修とするために、委員が研修の運営にかかわる。
- ・ 品田典子、片山はるひ、齋藤一子、齋藤哲郎、山崎満、齋藤琢朗

4. カトリック学校法人リーダー研修会

- ・ 将来のカトリック学校や学校法人を担うリーダーを対象に、現在の諸問題の中からテーマを設定し、講演と分科会を行っている。

5. キリスト教学校教育懇談会

- ・ 毎年、キリスト教学校教育同盟(プロテスタント学校の連盟)と協力して講演会を実施している。

6. 情報発信

- ・ ホームページを活用して、当連合会の取り組みについて都度発信している。
- ・ 2022年度に、ホームページのリニューアルを計画。

7. 加盟学校名簿の作成

- ・ 2年毎に加盟校の名簿を作成し配布している。次回は2023年度。

8. 日本カトリック学校教育委員会との連携

- ・ 学校教育委員会と連携するため、学校教育委員会定例会に当連合会から陪席する他、「校長・理事長・総長管区長の集い」(4月開催)に役員や事務局員が参加する。

9. みちのく未来基金

- ・ 東日本大震災で、被災により親を亡くした子供たちの成長を長期的にサポートすること、特に「大学及び専門教育への進学」に焦点を当てて被災地の復興の支援を行うことを目的に立ち上がった基金。カトリック大学・短期大学も12校がサポート校として参加している。
- ・ 毎年1回、「みちのく未来基金」の事務局を訪問し、情報交換を行っている。

10. 資産運用

「資金運用規程」「財務委員会運営規程」及び「2021年度資産運用方針」に沿って、特定資産の適正かつ効率的な運用を図っている。

II. 主な研修について

2022/04/ 現在

主な研修会	とき	ところ	内 容	2021年度
校長・理事長・ 総長管区長のつどい	4月 28-29日	オンライン & 対面	学校教育委員会主催。設立母体修道会の責任者や学校法人と現場の責任者である理事長、校長が集う。講師としてホアン・アイダル師(イエズス会、上智大学教授)、若松英輔氏(批評家・随筆家)、山本芳久氏(東京大学教授)、有馬実世氏(お茶の水女子大学博士課程)等が予定されている。	4月30日 リモート形式
第31回 全国校長・教頭 合同研修会	7月 7-8日	オンライン研修	小中高連盟主催。各地区がもちまわりで担当し、連盟委員長・事務局と連絡・相談をしながらプログラムを組み立てる。2022年度は東京地区が担当で、参加対象は校長、教頭となる。テーマ「これからのカトリック学校における教育共同体づくりー気づきと養成ー」。上智大学のSr.原敬子氏が基調講演をし、小島さやか氏と千葉くらら氏の2本の講演と後に分科会。コロナ禍を脱した今日、時間をかけて人々の交流の大切さを感じる会合にすべく企画したプログラム。	7月1日 オンライン研修 109名
新任校長研修会	2023年度		小中高連盟主催。全国のカトリック学校に勤務する新任校長の方たちのための研修会。目安として、着任後3年以内の校長先生を対象とする。隔年開催。	8月5日 21名 オンライン研修
第3回 事務職員研修会	7月 28-29日	ニコラ・パレ	小中高連盟主催。全国のカトリック学校に勤務する事務職員のための研修会。2017年度に始まり、隔年開催。	—
「カトリック教育」を 学ぶ会	8月 19-21日	富士見 マリアの家	小中高連盟主催。カトリック学校に勤務する若手教員(20代~30代)を対象とし、合宿形式で講話と分かち合い、祈り、親睦を大切にするプログラム構成とする。若い先生方の学校を越えた連携をはかる。	中止
大学・短期大学 職員研修会	9月 1-2日	仙台ガーデン パレス	大学・短期大学連盟主催。カトリック高等教育機関に勤務する職員として、キリスト教や建学の精神について学び、他大学からの参加者と意見交換を通して、相互の連帯を深める。昨年度からの繰り下がりで仙台にて開催。	—
第29回 カトリック学校法人 リーダー研修会	10月 13-14日	ニコラ・パレ	学校連合会主催。学校法人のリーダー的立場の方たちを対象とした研修会。後継者や教員養成、組織運営、社会の現状などについて学び、立場ごとに分かれて情報交換と話し合いをする。各学校法人からは、選ばれた3名以内が参加。	10月15日 86名 オンライン研修
第20回 講演会 (プロテスタントと合同)	11月 19日	(未定)	キリスト教学校教育同盟(プロテスタント学校の連合会)と連携して講演会を開催(キリスト教学校教育懇談会)。時宜にかなうテーマや講師を選びながら、キリスト教学校として大切にしたいことを発信する。	11月20日 81名 オンライン研修
カトリック学校 一日体験	9月 8日&12日	清泉小学校 清泉女学院中高	学校連合会主催。教職課程にある学生が教育実習より前に、実際に「学校一日体験」をすることにより、単なる免許取得に終わることなく、カトリック学校の教職を目指す一助となるように企画するもの。受け入れの学校が良い教員人事と出会い、採用にまで発展する機会となれば、嬉しい限り。	中止
教職員対象 キリスト教研究会	年間10回	オンライン研修	小中高連盟主催。2022年度よりオンライン研修方式に変更し、全国のカトリック学校に勤務する教職員を対象とした研究会。テーマを掲げ、それに沿った10回の講話。カトリック学校のアイデンティティの継承を念頭におく。 2021「イエス・これだけは伝えよう！」井上武師(レデンプトル修道会) 2022「旧約聖書は「蹟きの石？」佐久間勤師(イエズス会上智学院理事長) 【5/28 6/25 7/23 9/17 10/22 11/26 12/17 1/28 2/25 3/25】	井上 武師 (レデンプトル修道会) 46名 オンライン研修
第62回 教職員研修大会 新潟大会	2023年 7月 27-28日	朱鷺メッセ (新潟)	幼保連盟主催。コロナの感染拡大防止の観点から、2023年に延期された。担当地区持ち回りで隔年開催。2023年は新潟大会。	—
第15回 後継者養成研修会	8月 1-3日	大阪梅田教会 他	幼保連盟主催。毎年定員の40名が一杯になる研修会。合宿形式でカトリック園が大切にしたいキリスト教の精神をはじめ、他園での取り組み、労務問題、などを取り上げる。	7月30日 43名 オンライン研修
理事長・園長研修会	11月28日	オンライン研修	幼保連盟主催。2018年度、幼児教育連盟と日本カトリック保育施設協会の共催で開催。必要に応じての開催であるが、今年は11月28日オンライン研修として開催。基調講演は、前田万葉枢機卿。	—

【本件に関するお問合せ先】 一般財団法人日本カトリック学校連合会 e-mail: :rengoukai@catholicsschools.jp
電話 03-6380-8166 Fax. 03-63880-8165

Ⅲ. 大学・短期大学連盟事業

1. 連盟の運営(総会等)

- ・ 2021年度より、大学連盟と短期大学連盟が統合し、「日本カトリック大学・短期大学連盟」が発足する。
- ・ 総会は、6月11日(金)オンライン(zoom)形式で開催した。2022年度は、聖心女子大学において、6月10日(金)11日(土)、オンライン・リアルの併用で開催予定。

2. 研究奨励・奨学金

- ・ 大学部門では、カトリック学術奨励金「研究奨励賞」選考規定、「研究助成金」選考規定、大学院奨学生選考規定、大学院留学生奨学金選考規定に基づき、研究奨励賞、研究助成金、大学院奨学生・留学生を選出する。研究奨励賞3名、大学院奨学生・留学生6名を選出した。
- ・ 短期大学部門では、カトリック学術研究奨励賞選考規定に基づき、研究奨励賞を1名選出した。

3. 共催事業

カトリック大学図書館協議会が行う講演会を共催事業としている。

4. 職員研修会の開催

9月仙台白百合女子大学にて開催予定であったが、コロナ感染拡大のため中止。2022年9月1日(木)・2日(金)に開催予定。

Ⅳ. 小中高連盟事業

1. 連盟の運営(委員会等)

- ・ 日本カトリック小中高連盟の事業を企画し、実施に向けて、代表委員会にて内容を検討している。春の代表委員会は「校長・教頭合同研修会」に合わせに行っている。
- ・ 春の代表委員会は、7月1日(木)オンラインで開催。秋は10月22日(金)オンラインで開催。
- ・ 2022年度は、7月7日(木)午前中にオンラインで開催予定。

2. 校長・教頭合同研修会

- ・ 日本カトリック小中高連盟主催で行う研修会で、北海道地区が担当。
- ・ 繰り延べで7月1日(木)2日(金)札幌パークホテルにて開催を予定していたが、コロナ感染拡大の影響で、7月1日(木)にオンラインで研修会を実施。
- ・ 2022年度は、7月7日(木)午後、8日(金)の2日間、オンラインで開催予定。

3. キリスト教研究会

- ・ オンライン形式での開催により、対象地域を関東地域から全国に拡大。参加者46名。講師は、レデンプトル会管区長の井上武師、「イエス・これだけは伝えよう！」
- ・ 2022年度は、「旧約聖書は躓きの石？」と題して、イエズス会の佐久間勤師。

4. 新任校長研修会／事務職員研修会

- ・ 2つの研修会が交互に隔年開催。2021年度は、8月5日(木)新任校長研修会をオンライン形式で実施。

- ・ 2022年度は、7月28日(木)29日(金)で事務職員研修会を実施予定。
- 5. カトリック教育を学ぶ会
 - 若手教員(20代～30代)を対象とした研修で、2021年度は中止。2022年度は、8月に長野県富士見で開催予定。
- 6. 各地区連盟事業の助成
 - 日本カトリック小中高連盟の目的(規約第3条)を達成するために各地区連盟の事業に助成を行っている。

V. 幼保連盟

1. 連盟の運営(役員総会等)
 - ・ 日本カトリック幼保連盟の事業を企画し、実施に向けて、常任役員会及び役員総会にて内容を検討している。
 - ・ 6月8日(火)オンライン形式で常任役員会と役員総会を実施。その後、常任役員会を11月16日(火)、2月9日(水)にオンライン形式で開催。
 - ・ 2022年度は、6月7日(火)に常任役員会、役員総会を実施予定。
2. 後継者養成研修会
 - ・ 将来のカトリック園を担っていく人材育成を目的として、2泊3日の合宿形式の研修会を実施。
 - ・ 2021年度は中止となり、代替研修として7月30日(金)オンライン研修を開催。43名の参加者。2022年度は、8月1日(月)～3日(水)大阪梅田教会で開催予定。
3. 教職員研修大会(隔年開催)
 - ・ カトリック園で働く教職員を対象に隔年開催。新潟地区が担当で、2023年に開催予定。
4. 理事長・園長研修会
 - ・ 2018年度に初めて幼保合同で開催した。2022年度は11月に開催予定。
5. 研修会助成金
 - ・ 当連合会の目的に合致する事業として「キリスト教教育に関する研究会・講演会の開催」を企画運営する団体に助成している。助成金は講師料に限り5万円を上限としている。2021度の申請は5件にとどまった。
6. eラーニング教員免許状更新講座の運営
 - 幼稚園教諭に特化したオンラインによる免許状更新講座をキリスト教保育連盟と連携協力して運営。2022年夏ころ免許状更新制度の発展的解消も示唆されている中、今後の動向を注視している。

VI. 「よき家庭」発刊事業

- ・ カトリック小中高に学ぶ児童・生徒の保護者を対象に、カトリック学校と家庭を繋ぐ内容を盛り込んだ冊子を年3回(7月,12月,2月)編集出版。83,000部/回。
1部30円。

VII. 「ひかりの子」・「かがやき」発刊事業

1. 「ひかりの子」の編集出版

- ・ カトリック園に学ぶ園児の保護者を対象に、家庭教育、カトリック園との協力の推進に資する内容を盛り込んだ冊子を年 6 回(4 月, 6 月, 9 月, 11 月, 1 月, 3 月)編集出版。
56,000 部/回、1 部 60 円

2. 「かがやき」の編集出版

- ・ カトリック園で働く教職員を対象に年 2 回(6 月, 12 月)編集出版。
- ・ 「かがやき」は高い評価を受けており、5,500 部/回。1 部 180 円

3. 「カトリック園へようこそ」

- ・ カトリック園を紹介する冊子を希望する園に有料配布している。連盟名の変更に伴い部分的にリニューアルを実施。
- ・ 1 部 10 円(送料別)を 100 部単位で申込みを受けている。

VIII. 賛助会員制度

連合会の運営資金自体は、年々減少しているが、ミッションや事業に関しては拡大傾向にある。そのため、連合会の諸活動にご賛同いただける学校や企業、組織や個人などにご支援をお願いしており、間接的に困窮するカトリック学校の支援につながる仕組みとして定着させたい。

団体・法人会員 1 口 5 万円/年 個人会員 1 口 1 万円/年

以 上